

平成28年第1回定例会一般質問通告概要一覧表

質問順	受付月日	2. 12	通告者	7番	金野次男
1番	答弁者	市長	発言時間	30分	種別 総括
<p>1. 平成28年度市長の施政方針から</p> <p>(1) 多賀城駅北地区創造について 「東北随一の文化交流拠点」復興のシンボルとして位置付け核となる市立図書館等、平成14年長崎屋撤退後市民が待ちにまった中心市街地がいよいよ来月には現実のものとなります。</p> <p>昨年の補正予算、東日本大震災調査特別委員会等の説明会での「出資金」について出資者、出資額が決定したのか、その状況について説明されたい。</p> <p>(2) 特別史跡50周年記念行事事業について 平成28年は多賀城跡が特別史跡に指定されて半世紀を迎えます。多賀城跡に関する、過去の企画展示等、また、記念行事事業の構想を説明されたい。</p> <p>(3) 健康づくりの推進（健康遊具）について 全ての市民が自主的に健康づくりに取り組み、健康で明るく元気に生活する事を願い、現在12地区公園で健康遊具（固定・可動）が設置されている。介護予防の充実に併せてぜひとも力を入れるべきと思いますが市長のご所見を伺う。</p>					

質問順	受付月日	2. 12	通告者	16番	昌浦泰巳
2番	答弁者	市長	発言時間	30分	種別 総括
<p>1. 防災教育について</p> <p>(1) 東日本大震災の経験を踏まえ、かつ、風化させないためにも保存年限間近の備蓄食糧を3月11日当日か、直近の日に給食として児童・生徒に供してはどうでしょうか。</p> <p>(2) 給食と一緒に防災に関する授業を実施してはいかがでしょうか。</p>					

質問順	受付月日	2. 1 2	通告者	1 2番	齋藤裕子
3番	答弁者	市長	発言時間	30分	種別 一問一答
<p>1. 図書館の開館に伴い子供たちの読書推進について</p> <p>多賀城新図書館は、市の「知の拠点」と市長は位置づけられ、子供からお年寄りまで読書にしたしむ事の出来る場として進められてきました。特に多くの子供たちが来館を楽しみにしている事から、以下の点について質問します。</p> <p>読書推進法が、平成13年に施行され、本市に於いても学校の朝読書の推進や、読み聞かせなど進められてきていますが、他市の図書館の取り組みに『読書貯金通帳』を発行して子供たちの読書意欲や、励みになっており、読書向上に効果が出ています。開館に向けて、本市では読書貯金通帳は発行される準備はありますか。また、読書通帳がいっぱいになった時に、図書カードを贈呈するなどの励みになるものを考えてはいかがですか。</p> <p>2. 観光案内所の充実について</p> <p>駅北開発に伴い新図書館開館で多くの来訪者が見込まれ、市としても年間120万人を見込まれていますが、駅前にある観光案内所は多賀城にはじめてきた方に大変重要な窓口になっています。しかし観光協会の平成28年度予算が大きく減額になることで観光協会の運営が大変な状況になるとの懸念から、人件費を抑え人を減らすとか、観光案内所の開館時間を短くするなどの対応を迫られていますが、市長は観光案内所をどの様にお考えですか。</p>					

質問順	受付月日	2. 10	通告者	11番	阿部正幸
4番	答弁者	市長	発言時間	30分	種別 一問一答
<p>1. 「空き家バンク制度」について</p> <p>「空家等対策の推進に関する特別措置法」が平成26年11月27日に公布され、13条に「市町村による空家等及びその跡地に関する情報の提供、その他これらの活用のための対策の実施」とあります。</p> <p>空き家の有効活用を通じて、人口増加と定住促進による地域の活性化を図るため、市内にある賃貸や売却可能な物件の所有者から、その物件情報についての登録を募集し、物件情報を借りたい・買いたいと考えている方へ情報提供する「空き家バンク制度」の取り組みをしたらいかがでしょうか。</p> <p>2. 災害公営住宅の入居について</p> <p>災害公営住宅の入居状況は、現在は希望者が多く、入居資格があっても、入居できない方がいます。しかし、今後、入居資格がある方が全員入居した後も、空き室があった場合に、東日本大震災で被災された方が優先に入居出来るようにするべきだと思いますが、いかがでしょうか。</p> <p>3. 本庁舎の改善について</p> <p>庁舎前にある身体障害者用駐車場から庁舎正面玄関までにスロープがあります。そのスロープに屋根を設置して車イスで来庁する方が雨に濡れないようにしてはいかがでしょうか。</p> <p>また、正面玄関の階段に手すりを設置し、高齢者や足が不自由な方に配慮していただきたい。</p>					

質問順	受付月日	2. 12	通告者	8番	藤原益栄
5番	答弁者	市長	発言時間	30分	種別 一問一答
<p>1. 雨水流出抑制施設整備事業について</p> <p>(1) 高崎地区等をモデル地区に指定し推進することなどを提起してきたが、現時点で考えられている推進策を説明されたい。</p> <p>(2) 希望者が多い場合は補正増するようにされたい。</p> <p>2. 新図書館をめぐって</p> <p>(1) 以下の点につき報告をされたい。</p> <p>① 2013年7月26日のCCCとの協議記録は「館長の個人的メモ」とされてきたが、今後その取扱いはどうなされるつもりか。また、「個人的メモ」に代る復命書は提出されたのか。</p> <p>② 非公募で指定管理者を決定する場合、評価委員会を開催するようになっているが、いつ、どこで、どういうメンバーで、どういう協議がなされたのか。</p> <p>③ 「館長には司書資格を持つ方を」と主張してきたが、最終的にどういうことにしたのか。</p> <p>(2) CCCのプライバシーマーク問題について</p> <p>① 教育長はCCCにプライバシーマーク等を求めない理由のひとつに「これまでも社会教育施設の指定管理で求めてこなかった」ことをあげているが、Tポイントカードを導入するのであるから同列には論じられないと考えるがいかがか。</p> <p>② CCCが通知カードを本人確認に使用していたことが問題になっているが、個人情報を取り扱う会社として問題と思わないか。</p> <p>③ 図書館へのTポイントカード導入は中止すべきと考えるがいかがか。</p> <p>3. 駅北線の交通問題について</p> <p>新駐車場にできるだけスムーズに車両を誘導するために、駅北線に左折専用レーンを設けること等提起してきたが、県との協議に進展はあったか。</p>					

質問順	受付月日	2. 1 2	通告者	10番	森 長 一 郎
6番	答 弁 者	市 長	発言時間	30分	種 別 一問一答
<p>1. 介護予防について</p> <p>(1) 新年度より「介護予防・日常生活支援総合事業」が実施されるが、介護予防の目的で一致する介護福祉課と健康課で重複する事業を効率的にはいかがか。</p> <p>(2) その為にも、介護福祉課と健康課は隣接している方が情報交換もし易く、来訪者にとっても調法だと思うがいかがか。</p> <p>(3) 受け皿となる市民団体、地域活動団体にどのような支援を考えているか。</p> <p>2. 図書館の利便性アップと混雑緩和について</p> <p>3月21日図書館の開館以降、相当な賑わいが予測される。図書館への利便性アップと、交通の混乱を避ける為にも循環バスの便数を増やしてはいかがか。</p> <p>3. 成人式について</p> <p>成人式の実行委員に私立中学校卒業生も加え、更なる出席率の向上を目指してはいかがか。</p>					

質問順	受付月日	2. 1 2	通告者	2番	戸津川 晴美
7番	答弁者	市長	発言時間	30分	種別 一問一答

1. 市民プールの利用促進について

水中での運動は、高齢者の健康維持と介護予防に大変有効です。より多くの高齢者に市民プールを利用いただくために、

- (1) 高齢者割引料金の導入
- (2) 1回2時間という時間制限の見直しが必要と考えますが、いかがですか。

2. 交通環境の整備について

- (1) バス停へのベンチの設置

駅前だけでなく、交通の妨げにならないバス停には設置してはいかがでしょうか。特に市民プールのバス停には設置を急がれたい。

- (2) 自動車等免許証の返上者に補助

多発する高齢者による交通事故の防止対策として、自動車等免許証の返上にご協力いただいた方に対し、バス券またはタクシー券等の補助をされてはいかがでしょうか。

- (3) 横断歩道等の白線修復

多賀城小学校入り口の横断歩道等の白線はうすくなり、ほとんど見えない状態です。子どもたちや、住民の安全確保のため、一日も早く、白線の修復をするよう、関係機関に働きかけるべきと思いますが、いかがですか。

質問順	受付月日	2. 1 2	通告者	1番	中 田 定 行
8番	答 弁 者	市 長	発言時間	3 0分	種 別 一問一答
<p>1. 公契約条例制定について</p> <p>公務・公共サービスにニューパブリックマネジメント（NPM）手法が導入され、アウトソーシングが種々検討、実施されています。このアウトソーシングの拡大が、賃金や労働条件を無視した公務・公共サービスの「民間開放」につながり、「官製ワーキングプア」の増大につながってはいないでしょうか。</p> <p>「官製ワーキングプア」をつくりださないために「公契約条例」を制定して、公務・公共サービスを担う人々のまともな労働条件の確立と、公務・公共サービスの適正な運用を図り、安全・安心なまちづくりにつなげていったらいかがでしょうか</p> <p>公契約条例制定でまともな労働条件、適正な公共サービス確保を図るべきだと考えます。市長の考えをうかがいます。</p> <p>2. 八幡地区の防衛施設局宿舎跡地の取得について</p> <p>平成27年第3回定例会の一般質問でも取り上げ、昨年11月25日に八幡地区の地元の方々の「仙台防衛施設局跡地を取得し、市民のために有効活用を求める要望書」が551筆の署名とともに提出され、呼びかけ人と市長の話し合いにも立ち会いました。</p> <p>市長は「近隣も含めた整備を100年200年先を見据えて整備するよう計画をさせている。隣接するお寺さんや、地元の区長さんたちとも話し合いも必要だ」と答えるにとどまっています。その後の市の対応・検討結果を伺うとともに、市民の願いにこたえ、是非とも市が取得されますよう、市長の考えを伺います。</p>					

質問順	受付月日	2. 1 2	通告者	4番	江口正夫
9番	答弁者	市長	発言時間	30分	種別 総括
<p>新図書館の障がい者等サービスについて</p> <p>待望の新図書館が来月21日にオープンし、県内外から多くの人々に親しまれ、本市の「知の拠点」として、また復興のシンボリック施設として、その相乗効果により、まちの賑わいの創出に大いに期待されています。</p> <p>これまで、新図書館については、丁寧な議論及び検討が行われ、その成果が反映されてきましたが、障がい者等の方にとっても、特に利便性がよく、優しいサービスや設備環境の整備は必然であります。</p> <p>この点について、以下、質問をいたします。</p> <p>(1) 新図書館における障がい者等のサービスをどのように考えておられるのか、具体的なサービスの内容について、お伺いします。</p> <p>(2) 指定管理者CCCグループは障がい者が図書館利用にあたってのノウハウをどの程度お持ちなのか。</p> <p>また、その対応マニュアルは作成されているのか、お伺いします。</p> <p>(3) サピエ図書館（視覚障がい者情報総合ネットワーク）の会員として、障がい者が利用できる録音図書、点字図書の拡充を図るべきと思いますが、いかがですか。</p>					

質問順	受付月日	2. 9	通告者	6番	米澤 まき子
10番	答弁者	市長	発言時間	30分	種別 一問一答
<p>1. 多賀城市図書館利用申込みの性別欄削除と図書館利用券に通称名使用許可を 心と体の性が食い違うことに苦しむ性同一性障害は世界保健機関も認める医 療疾患です。我が国で、これまで医療機関でその診断を受けた方は、2012 年度末で1万5105人、診断書に記載数が3035人、潜在的に数万人の当 事者がいると言われていています。又、心の性に従い生活する当事者の多くが、生 活実態と公的書類上の性別が異なることから、さまざまな困難に直面している と言えます。</p> <p>この3月に新図書館の完成と同時に交流人口の増に伴い、性的少数者の当事 者の皆様への人権を考慮し、多様性への理解を示すべきと考えます。その方法 として取り組める対策があるのではと思います。その対策の提案として</p> <p>(1) 図書館利用申込書の性別欄削除 (2) 図書館の利用券に通称名使用 が、可能ではないでしょうか。</p> <p>現在の社会制度はさまざまところで男女の別を問い続けています。又、低 年齢層が多様性の理解度を深めるきっかけにもなると思います。いかがでしょ うか。</p>					

質問順	受付月日	2. 12	通告者	14番	雨森修一
11番	答弁者	市長	発言時間	30分	種別 一問一答
<p>1. 多賀城南門復元計画について</p> <p>南門復元計画について伺います。</p> <p>平成28年度予算案説明の中で、南門復元計画平成27年、28年度の実施見直しとして、62,710,000円が計上されています。</p> <p>多賀城創建1300年（平成36年）南門復元完成を目指し、着々と計画が進められているようです。復元計画の内容について、5点伺います。</p> <p>(1) 南門復元は歴史的建物の実物大復元なのか</p> <p>(2) 南門復元の総事業費の予測額は</p> <p>(3) 南門復元後の維持管理について</p> <p>(4) 多賀城南門復元計画について、多賀城市民の声、賛否をどのように受け止めているのか。</p> <p>(5) 南門を復元することにより費用対効果、多賀城の観光が経済面に於いて寄与するかどうか。</p> <p>以上伺います。</p> <p>2. 多賀城駅前交番早期実現について</p> <p>昭和30年まで、多賀城駅周辺に設置されていた駅前交番が、他地に移転して61年目を迎えるのであります。</p> <p>駅を中心とした、安全、安心まちづくりは多賀城市民の長年の願いである。駅前交番化についての状況を説明願いたい。</p>					

質問順	受付月日	2. 10	通告者	9番	佐藤恵子
12番	答弁者	市長	発言時間	30分	種別 総括
<p>1. 東日本大震災から5年、市の復旧・復興施策について</p> <p>(1) 震災復興はまだ途上であり、被災者の生活・生業の再建のために被災者に寄りそう支援を中断することなく進めていくべきと考えるが如何か。</p> <p>被災者医療費の一部負担、介護保険利用料の負担免除の継続を決めたことは評価するものであるが引き続き、国・県に対し免除のための財政支援を強く要請されたい。</p> <p>(2) 住まいの確保は生活再建の土台であり、とりわけ今後転居先をさがさなければならぬみなし仮設住宅の入居者について、借家のあっせん等支援を強めるとともに、みなし仮設住宅入居の低所得世帯には「みなし災害公営住宅」として条件を満たす物件があれば「みなし災害公営住宅」として活用することや、災害公営住宅の家賃軽減策に準じた家賃補助を実施されたい。</p> <p>2. JX仙台製油所の防災対策について</p> <p>JX仙台製油所は昨年と今年1月までに火災も含め配管からの重油もれ等の事故が10件も発生している。近隣の住民から「それにしても多すぎる」との声が出されている。JXと県、多賀城市等関係6市町は公害防止協定を締結しているが、県に対してこの協定に基づきJXへの立入調査や是正勧告を求めること等、事故防止のための抜本的対策を講じるよう求められたい。</p> <p>3. 消防団員の確保、活動の支援について</p> <p>本市の消防団員は定数200人に対し、180人とどまり、団員不足が深刻な分団もある。募集業務の充実、強化が求められている。地域コミュニティ課等とも連携し、分団の地域性に対応したきめ細かな団員確保に取り組むとともに、消防団活動を補完する機能別消防団員制度の導入も検討されてはどうか。又、消防団支援法に基づく各種装備の充実、整備に取り組まれたい。</p>					

質問順	受付月日	2. 1 2	通告者	3番	鈴木 新津男
1 3番	答 弁 者	市 長	発言時間	3 0分	種 別 一問一答
<p>1. 宮城東部衛生処理組合について</p> <p>(1) 市及び組合の事務の効率化及び直接搬入する利用者の利便性を図るため、搬入許可申請の窓口を組合施設に一本化にしていきたい。</p> <p>(2) 事業者の搬入には、ごみの発生現場のそれぞれの市・町の許可が必要です。事業者の所在地の市・町からは1ヶ月の臨時許可証が発行されていますが、他の町の現場になった場合毎日許可申請を行うことになっている。これを1市3町で統一した許可基準に改善していきたい。</p> <p>(3) 直接搬入者の手数料は、最初の100kgまでが1000円、以下50kgごとに500円で、1枚500円のチケット制になっていますが、年間通して搬入する事業者は端数繰上げのため見直してほしいとの声があります。近年電子マネーの普及が著しい状況ですのでこれを採用していただき手数料を1kg当たり10円に改定してチケット制からカード決済方に改善してはいかがか。</p> <p>(4) 本市における直接搬入者の手数料収入はいかほどになっていますか。また組合に対する本市の負担金の関係はどのようになっていますか。</p>					